外出前の「天気情報チェック」が命をまもる!

熱中症の危険を知らせる熱中症警戒アラートは「熱中症警戒情報」として法制化。さらに危険な場合は 「熱中症特別警戒情報」が発表されます。外出前の天気情報チェックを習慣づけましょう!





テレビ、ラジオ、スマホ、新聞で 情報をチェック!



熱中症予防の基本! こえかけ も忘れずに!



屋外労働や室内外など、 たくさん汗をかく時は水分と 塩分を補給しましょう。



避けよう

炎天下での長時間の作業、 海水浴は避けましょう。日傘や 帽子で日光を遮りましょう。



<mark>風通しを</mark>

室内でも油断は禁物! 適度な風通しや冷房設備で 熱を逃がす工夫をしましょう。



睡眠・栄養はしっかりと! 日頃から適度な運動で暑さに 負けない体を作りましょう。



熱中症の応急処置!

(1) 涼しい環境への避難

-風通しの良い日陰やクーラーのある 室内など、涼しい場所へ避難させる。

(2) 脱衣と冷却

衣服をゆるめるなどし、体からの熱の 放散を助ける。氷や水で首や脇の下、 足の付け根などを冷やす。

(3) 水分や塩分の補給

与える。(ただし、意識がはっきりして いない場合、経口での摂取は厳禁)

(4) 医療機関へ運ぶ

意識がはっきりしないとき、自力で 水分摂取ができないときは、すぐに 医療機関に搬送する。

この広告は、熱中症環境保健マニュアル http://www.wbgt.env.go.jp/heatillness_manual.phpを参考に作成しています。

沖縄県保健医療介護部 地域保健課 TEL 098(866)2215 https://www.pref.okinawa.jp/iryokenko/kenko/1006282/1023461.html

詳しい熱中症情報は こちらから ---



沖縄県熱中症情報

沖縄県熱中症

検索

熱中症はこえかけで防げる。

熱中症とは? 室温や気温が高い中での作業や運動により、体温の調節機能が働かなくなり、体内の水分や塩分 (ナトリウムなど) のバランスが崩れ、発症する障害の総称です。

おかしいな?

と感じたら…熱中症の応急処置!



熱中症重症度

重症度 1



めまい、立ちくらみ、 筋肉のこむらがえりなど

重症度 2



頭痛に吐き気、 倦怠感など

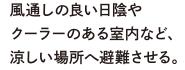
重症度 🔏



意識がない、痙攣、 呼びかけに対する返事がおかしい、 まっすぐに歩けない、 高い体温であるなど

熱中症は、 家族で!職場で!地域で! 防ごう!!

涼しい環境への避難



2脱衣と冷却

衣服をゆるめるなどし、 体からの熱の放散を助ける。 氷や水で首や脇の下、 足の付け根などを冷やす。



水分や塩分の補給

冷たい水や、スポーツドリンクなどを 与える。

(ただし、意識がはっきりしていない場合、 経口での摂取は厳禁)



4)医療機関へ運ぶ

意識がはっきりしないとき、 自力で水分摂取ができないときは、 すぐに医療機関に搬送する。



熱中症を引き起こす条件って何?

【環境】気温が高い、湿度が高い、 日差しが強い、風が弱い

【体】激しい労働や運動によって、 体内に熱がたまる、暑い環境に体が 対応できない時

どんな場所でなりやすいのか

高温、多湿、風が弱い、輻射源(熱を 発生するもの) の環境下

※工事現場、運動場、体育館、窓を閉め 切った車中は特に注意! 室内でも熱中症は発生しています

どのような人がなりやすいのか

脱水症状のある人、(寝不足や欠食時、 前の晩の飲酒など)、高齢者、幼児、肥 満の人、過度の着衣、運動不足の人、暑 さに慣れていない人、病気の人、体調 の悪い人